

# 雪板の魅力レポート

## その1 マイ雪板を作ってみた

C班の小関です。

昨年8月に川西町で「雪板」ワークショップを開催している「OutBack Labo」さんのアトリエを見学させていただきました！



というのも、今年C班は雪板を核として、置賜地域の雪の魅力を発信しようと考えております！

※「雪板」とはスノーボードと似ていますが、ブーツを履かずに文字通り「板に乗って」雪斜面を滑走する新しいウインタースポーツです。

ラボの皆さんはとにかく明るく気さくな方々ばかりで、僕らのことを温かく迎え入れてくれました。

滑る人と見る人の一体感だとか  
上手に滑れた時の喜びの共有だとか  
語り合い信頼関係を築くことだとか



僕らも一緒にやるからには「OutBack Labo」さんの「思い」を大切にしたいと考えています！

後日、まずは「OutBack Labo」さんが主催する雪板制作ワークショップに参加し、マイ雪板を作ってみました！



雪板製作は板を成形するところから始めます。板に水を吸わせて熱すると曲げられるようになるので、専用の型枠で反りをつけていきます。秋田県の「曲げわっぱ」と同じ要領です。



今回は、OutBack Labo さんにあらかじめ反りをつけてもらった板で雪板を作りました。ざっくり書くと雪板製作の工程は以下の通りです。

- ①ノコギリで板を切る
- ②やすりがけ
- ③ソールに溝をつける
- ④絵具で色を塗る
- ⑤ソールに布を張る
- ⑥ニス塗りと乾燥を繰り返す



一気にやれば丸2日でできる工程ですが、なかなか工房に行くことができず、最後は OutBack Labo さんに仕上げてもらいました。なんと、滑り止めまでつけてくれました。（超かっこいい！！）いろいろとサービスもしてもらい、OutBack Labo の皆さんには感謝しかありません。

さて、やっと雪板を手に入れたからには、もちろん滑らなきゃいけません。  
体験の様子は次の記事でご紹介しますが、最高に楽しかったです。雪板マジで最高  
です！

